

令和5年度 学校運営評価結果

川越市医師会川越看護専門学校

本校（准看護学科・看護学科）は、「学校評価ガイドライン」に基づき、学校運営評価※を実施しています。令和5年度における最大の問題は、応募者の減少と退学者の増加に起因する定員確保です。募集については、当校の特色に相応しい推薦入試（指定校・社会人自己・施設）を両学科で実施し、より受験しやすい工夫をしています。退学対策としては、従来の個別対応の充実に加え、学科と学年を超えた交流機会を設けることで、具体的な悩みや不安を可視化し、解決に結びつける場を作りました。それに加えて、学校が人間関係の構築や楽しい場となるように季節イベントを多く取り入れました。

本年度は看護師2年課程の指定規則改正があり、それに基づき『看護学科における基礎的能力の育成』として、『地域包括ケアシステムの中で力を発揮できる』では領域横断、多職種と連携・協働が実感できるカリキュラムを講義、実習に工夫しました。『ICT活用』では情報教育内容の見直しと具体的なツールの活用を始めました。『臨床判断能力の強化』では専門基礎分野と専門分野の充実に狙い、授業科目構成を整理しました。

資格取得率では埼玉県准看護師試験が100%、看護師国家試験が91%となりました。

以上の評価結果を踏まえ、今後の学校運営改善・改革に活かし、看護教育活動のさらなる向上を目指す所存です。

なお、評価は8分野44項目について、5「よい」、4「やや良い」、3「普通」、2「やや不十分」、1「不十分」の5段階で実施し、結果は下記の通りです。

※各職員の自己評価から教務会議及び学校運営会議に諮り検討した結果です

評価項目と評価点

評価項目	令和5年度
	平均評価点
I、教育理念・目的・育人人材像 * 学校の理念・目的・育人人材像は定められているか等 4項目	4.4
II、教育活動 * 目標の設定、理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか等 11項目	4.2
III、学修成果 * 就職率の向上が図られているか等 3項目	4.3
IV、学生支援 * 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか等 9項目	3.3
V、教育環境 * 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか等 3項目	4.8
VI、学生の募集と受入れ * 入学選考、学納金等 5項目	4.9
VII、法令等の遵守 * 学校評価等 7項目	3.6
VIII、社会貢献、地域貢献 * 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか等 2項目	4.5

平均評点

